

おおぐち

Oguchi

議会だより

3月定例会 No.161

平成18年5月1日
町の花「さくら」

新年度予算を探る 4

生ごみ

集中型施設の検討を（一般質問） 8

補助ではなく支援 15



ご入園おめでとう

保育園の先生たちが「アンパンマン手遊び」で歓迎してくれました（大口西保育園）

可決

127億円

統合中学校建設特別委員会の動き

統合中学校の基本設計を審査するために置いた特別委員会は、中学校建設及び周辺整備工事に関しての審査を引き続き行う必要があるため、改めて委員を選任しました。

委員は次のとおりです。(8名)

委員長	宇野昌康	
副委員長	齊木一三	
委員	田中一成	柘植 満
	木野春徳	宮地計年
	吉田正輝	高橋歳治

統合中学校 中庭イメージ

3月定例会は、2日から22日までの21日間の会期で開かれました。

初日に酒井町長から「平成18年度は第6次総合計画のスタートの年として、持続可能な地域社会の再生に向け、新たなる第一歩を踏み出す時である。“みんなで進める自立と共助のまちづくり”を基本理念に、協働による新たなまちづくりに取り組んでいきたい」との施政方針。

新年度予算をはじめ、国民保護協議会条例の制定、都市公園条例の一部改正、17年度補正予算など29議案を審議しました。会期中に1議案の撤回があったので、28議案を原案どおり可決しました。

一般質問では5人が町政全般にわたり鋭い指摘をしました。

新年度予算

総額

統

合

18年度は
11億8446万円

中学校建設

当初予算

平成18年度の当初予算総額（一般会計と8つの特別会計の合計額）は、127億5094万円、前年対比9・2%の増額と決定しました。

歳出では、平成20年4月に開校が予定されている統合中学校建設事業（総事業費42億6600万円）に、11億8446万円を計上するなど、今年度の目玉事業となっています。

一方歳入は、景気復調の兆しが見られることから、個人・法人を合わせた町民税に、21億5510万円、前年対比17・1%増を見込んでいます。中学校建設を控えているため、町債は前年度から4億5800万円増え、7億800万円になっています。

国民保護協議会

ミサイルや化学兵器による攻撃等から住民の生命・財産を保護する国民保護法に基づき、国民保護協議会条例が制定されました。有事の事態に備え、国民保護計画を策定するためです。

介護保険

介護保険条例の一部改正は、3年ごとの介護保険サービスタリフに基づき、65歳以上の第1号被保険者の介護保険料を改正するものです。基準額が第3段階3万5292円年額から、新第4段階4万1400円になりました。負担が過重にならないよう激変緩和措置が設けられています。

都市公園

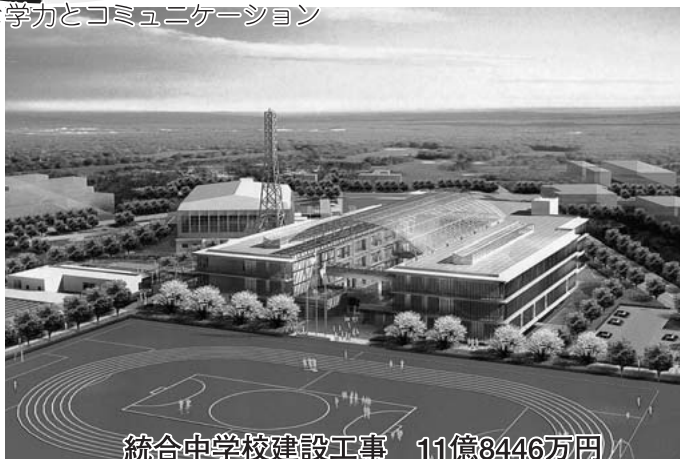
公園内に、許可を得ず自動車等を放置したり、工作物を設置した場合、町が適正に除去できるように、都市公園条例を改正します。

一般会計

79億円の使い道



スクールネット事業 4566万円
子ども達の「確かな学力とコミュニケーション能力」を育成します



統合中学校建設工事 11億8446万円
平成20年4月の開校に向けて

平成18年度は第6次総合計画のスタートの年にあたります。
「みんなで進める自立と共助のまちづくり」を基本理念として、行政みずから意識・組織・財政の改革に取り組む第一歩となる年の予算です。
一般会計予算79億円はどのように使われるのか、探ってみたいと思います。

まちづくり活動

まちづくり活動の把握からNPO団体の育成まで、一体的に行います

予算額 1271万円

太陽光発電に補助

住宅用太陽光発電システムの設置に対し、1件当たり44万円を限度として補助します

予算額 176万円



桜の病害木処置

桜調査診断の結果、病害木である桜木を処置します

予算額 283万円

新規事業

あらかると

きらっと光る新規事業を見つけました

(単位未満切捨て)

ホームページ更新

膨大な情報量で内容が煩雑になったため、分かりやすいホームページに更新します

予算額 738万円

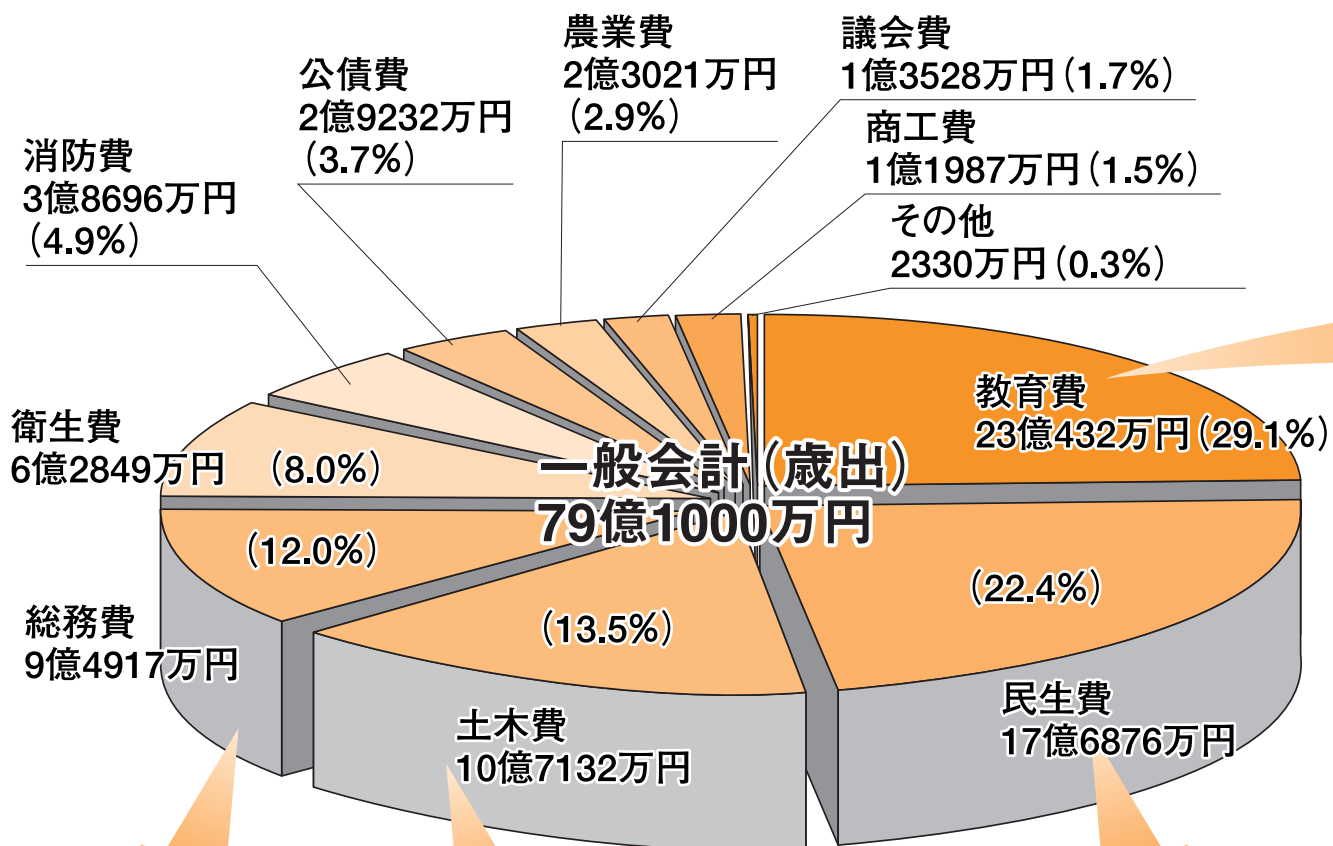


「大口の歴史」合本

大口100周年を記念し、「まんが大口町の歴史合本」600部を作成します

予算額 493万円

18年度予算をのぞいてみよう



アスベスト撤去工事 1539万円
役場庁舎内のアスベストを撤去

柏森駅舎整備事業 1億9711万円
いよいよ橋上化に 19年3月完成予定



乳幼児等医療費助成 6000万円
入院・通院に一部負担を導入し、対象年齢を7歳まで拡大

会計名	18年度	17年度	前年対比	
一般会計	79億1000万円	70億7000万円	11.9%	
特別会計	国民健康保険	17億5900万円	17億5290万円	0.3%
	老人保健	13億7482万円	12億7414万円	7.9%
	介護保険	7億3743万円	6億7828万円	8.7%
	公共下水道	9億4102万円	8億7110万円	8.0%
	農業集落家庭排水	2544万円	2680万円	▲5.1%
	国際交流	194万円	189万円	2.6%
	社本育英	129万円	151万円	▲14.6%
	土地取得	—	—	—
	小計	48億4094万円	46億662万円	5.1%
合計	127億5094万円	116億7662万円	9.2%	

※①金額は単位未満、前年対比は小数点以下第2位を四捨五入した
②土地取得特別会計は、四捨五入の結果、金額が単位未満となるため表示しない

委員会ハイライト



いざという時のため 三角巾の結び方講習

議案は常任委員会に付託され、慎重に審査されます。その審査の経緯と結果は、本会議で各常任委員長が報告し、質疑、討論を経て採決されます。

負担割合の是正を 丹羽広域

総務文教

国民保護協議会条例は、ミサイル攻撃等の予測段階から公共交通機関は統制され、市町村レベルでは何もできないし、非現実的な計画を作る必要はないとの意見が出ました。これに対して、法律上策定が義務付けされており、万々に備えて策定していきたいとの答弁がありました。

丹羽広域事務組合の負担金は、両町の人口で比較すると大口町の方が多くなるので、町に是正の協議を依頼しました。過去に2回ほど議論してきたが変更できなかったもので、議会からも今までにはない視点で提案していただきたいとの答弁がありました。

本会議の質疑で、プール受付及び監視業務の予算が不足しているという答弁がありました。そのため、正常に受けられない金額で予算を立てること自体誤りではないのかとの質問に、事業者からの見積もりを参考に、担当課とのヒアリングで予算を決定しているとの説明でした。

少子化対策に独自の施策を

健康福祉

国際交流事業はニカラグアの政情不安で中止したとの説明がありました。初めから分からなかったのかという質問に、フレンドシップ国の大統領が万博にも来られない状況になったので、中止したとの説明がありました。

南保育園の延長保育時間

国際交流事業はニカラグアの政情不安で中止したとの説明がありました。初めから分からなかったのかという質問に、フレンドシップ国の大統領が万博にも来られない状況になったので、中止したとの説明がありました。



大口町のフレンドシップ国(愛知万博)ニカラグアのマセワル民族舞踊団

不公平感をなくすよう地区に援助

環境建設

不燃物集積場として用地を購入すると、過去の経緯から不公平になるのではないかとこの質問に、時代とともに用地確保が難しくなったので、要望があれば購入するとの答弁でした。地区では賃借料を支払っているところもあるので、町の援助を要望しました。

可燃ごみ袋が、昨年比約700万円増加した理由

鉄筋コンクリート造の建物耐震診断は、愛知県建築士協会が窓口を開設し相談に応じていると説明がありました。

目標 焼却ごみ20%削減!!
達成できればバス停は確保されそうです
(点線部分が、おおむね2割)

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

3月定例会の一般質問は
5人が質問しました。

一般質問 安藤 桂 議員

集中型施設の検討を 環境施策として取り組む



安藤 桂 議員

安藤 河北エコステーションは家庭の生ごみしか処理できず、しかも短期間による発酵のため完熟堆肥ではない。施設の臭い対策も不十分である。
生ごみ以外にも剪定枝、もみ殻や畜ふんなども視野に入れ、大口町に合った集中型施設での堆肥作りを検討してもらいたい。

町長 河北エコステーションの堆肥は、土壌の活性化はもとより、地域づくりにも役立つ。こうした取り組みに少しでも多くの方が共鳴していただければと思っている。
集中型・分散型それぞれにメリット・デメリットがある。議会から提案のあった全町一括の集中

型での堆肥作りは、町の環境施策として取り組むたい。

安藤 前向きに検討するとの回答だが、集中型を研究する予算が付けられていない。早急に予算化されたい。

町長 集中型で処理することができる。農家にそれだけの受け皿があるのか心配する。
集中型施設のランニングコストやどういうノウハウでできているかを解決することが問題。補正予算は担当課で検討しているが、今しばらく予算化に時間をいただきたい。

焼却ごみの減量については喫緊の課題であるので、河北の分散型施設の効用も認めていただきた



集中型堆肥化処理施設の説明を真剣に聞いています
=平成17年10月、栃木県茂木町

成年後見制度の推進を 周知に努める

柘植

高齢者を狙った悪質商法が社会

問題化している。

成年後見制度は、認知症や知的または精神に障害のある方など、判断能力が不十分な方に対する制度であるが、認知度が低く本町では実施されて

いない。個人の尊厳を保つため、

①この制度を必要に応じて利用できるよう推進を図れ。

②費用負担が困難な方のため、「成年後見制度利用支援事業」の創設を。

健康福祉部長

①高齢者や

障害者に対する制度が変わっていく中、成年後見制度のニーズが高まると予測される。対象者の視点にたった制度とするため検討を行いたい。

地域包括支援センターでも、機会あるごとに周知に努める。

②先進自治体の状況を調査・検討し、制度の整備を進めたいと考えている。



柘植 満 議員

一般質問 柘植 満 議員

介護給付の適正化対策を 県と町で啓発する

柘植

不適切な介護サービス提供や不正な介護報酬の請求で、指定業者の取り消し処分を受けた事業所が、全国で313か所あり、その数は年々増加している。

①介護給付費適正化に対する整備の充実が必要である。本町の現状と取り組みを示せ。

②このような問題、課題や解決法の評価手法を整備しなければ、保険料の値上げは説得力がないのではないかと。

③高齢者虐待防止法が4月1日より施行される。相談窓口の整備はどのようになっているか。

健康福祉部長

①介護支援

専門員の資質を向上させることが重要と考え、平成12年から連絡



親身になってご相談に乗ります
=4月に開設、健康文化センター2階

②今回の介護保険法の改正においても、とりわけ訪問介護については、事細かに規制されている。県と大口町がタイアップして、事業者の適正な運営の確保を啓発していく。

③福祉課に相談窓口を設置する。町内施設や地域包括支援センターとの連携を図り、虐待防止に努めたい。

非課税収入から利用料をとるな 一定の負担は必要



吉田 正 議員



ハートフル大口での作業風景

吉田 4月から、障害者サービス利用料を1割負担しなければならぬ障害者自立支援法が始まる。国による減免制度があるものの、3月までは無料で利用していた人がほとんど。非課税である障害基礎年金受給者から利用料を取るべきではない。

健康福祉部長 障害者自立支援法では、障害基礎年金も収入に加えて判定するよう規定されている。所得の低い方も一定の負担をしていただき、サービス利用に対する公平性の確保として、必要なことと考える。

健康福祉部長 在宅と施設の負担の公平性を図るため、介護保険施設の居住費と食費が自己負担になった。制度改正に伴い、所得の低い方に対して負担が過重にならないよう支援策が実施されている。入所者の年金だけに着目するのではなく、家族の方の支援・援助も重要と考える。

吉田 介護保険施設の入所者80人中、新介護保険料第4段階に該当する方が30人いる。その内、年金などの収入で入所費用が賄えない人が27人もいる。減免すべきではないか。

年金だけでは支払えない
家族の援助も重要

介護保険法の改正による 施設入所者の負担額影響調査

調査期間：平成17年12月19日～28日

調査方法：アンケートに記入(郵送)

対象者：施設入所者の内、新介護保険料第4段階以上の方

施設名	対象者数	回答者数
介護療養型医療施設(2施設)	3名	2名
介護老人福祉施設(4施設)	9名	8名
介護老人保健施設(6施設)	29名	25名
合計	41名	35名

新介護保険料第4段階(本人町民税非課税)の方は30名、
その中で入所費用が年金額を越えている方は27名です。

消防団の再編も

9分団を維持したい

鈴木

今、消防団は低
迷期に入ってい
るのではないのか。現在
の9分団を小学校区単位
に再編成し、組織を活性
化させる等の改革を行う
べきではないか。

各区に配置したほうが良
いと思うが、どう考える
か。

鈴木

イベントの時しか利用
されないホバークラフト
より、広域な救助活動が
できる小型救命ボートを

総務部長

3月1日現
在、条例定

数97人に対し71人となっ
ているが、18年度は入
退団の差し引きで4人の
増員が見込まれる。分団

の再編成については、消
防団の歴史があるので9
分団の維持に全力を尽
きたい。



五条川自然塾での体験乗車



鈴木喜博議員

平成17年度、各自主防災
会に防災備品の補助をし
た。必要があれば、自主防
災会等に対応していただ
けるとありがたい。

一般質問 鈴木喜博議員

第二の消防団は 現行制度を充実させる

※第二の消防団とは…

消防団員は仕事の傍ら消防活動に従事しているため、
昼間の火災があったときなど出動できる者は限られてい
ます。そこで消防団とは別に、退職等をして普段家にい
る方を中心に、消火作業のみを行う組織のことを指して
います。



平成18年度の消防団入団式
=3月26日、町民会館で

鈴木

各自主防災組織
に、第二消防団
的な組織運営ができるよ
う柔軟性のある考えを持
つべきではないか。

平成17年度に、秋田区
から防火水槽を要望した
が断わられている。町民
の財産と生命を守るため
の設備・備品の充実に予
算措置をお願いしたい。

総務部長

現行の消防
団と自主防
災組織の充実を図って
いくこととごめたい。

防火水槽設置の件は、
消防水利の設置基準に照
らし合わせて判断し、予
算措置を見送った。

町長

町民の安全確保
を軽んじている
わけではないので、ご理
解いただきたい。

保育園は町営のままに意見を聞いて方向付ける



田中一成議員

田中 国は地方に、保育園の民営化を集中改革プランの一つにおくように迫っている。

町長は「当分の間、民営化は検討を続ける」と明言されている。

① 幼保一元化(総合施設)にどのようなメリットがあると考えているのか。

② 今後も、町立のまま進めるべきだと思うかどうか。

健康福祉部長

① 子育て支援

援の取り組みができるようになる。具体的には受け入れ条件の緩和や育児相談がある。小学校へつながる一体的な教育も取り入れることができる。

② 2月23日の保育所運営委員会では、現状を希望する意見がある一方、経済的な負担が少なければ民営化、指定管理者の導入も否定しないという意見もあった。地域住民の方や保育園・幼稚園に通園されている保護者の方も含めて、話し合いの場を設け、町として方向付けをしたい。

具体策はあるか 農業公園構想 農地の多様な機能を活用

田中 18年度の施政方針で、農業公園構想について「農地を次世代に引き継ぐことが責務であり、積極的に取り組む」と言われたが、具体的な施策が見えてこない。町長就任2期目の最終年度である。どのように考えているか。

町長 町の食糧需給率を向上させることを一つの柱と位置付け、農地の持つ多様な機能を十分に活用する農業公園構想を提案した。

生産者と消費者の交流の場として朝市を開催。付加価値の高い農産物づく



大人だって初体験です 古代米の稲刈り

くりとして古代米を栽培して、給食に利用している。また遊休農地対策として、17・18年度の2か年で現地調査を行い、「環境・景観・交流・健康・教育」の5つの側面から、農地の持つ様々な機能に着目した施策を展開したい。

追跡

1年前の一般質問

あれから どうなった？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、その後どのように町政に反映されたかを追跡調査してみました。

今回は、平成17年3月定例会からピックアップしました。

早期完了を 愛岐南北線

交通量が増大し早期開通が望まれている。現在の状況と今後の見通しは。

(大森道弘議員)

町長答弁

実現に向け努力

16年度に県で用地取得費が計上され、17年度からは国庫補助を受け事業が継続される予定である。今後も関係機関への要望と用地交渉に努力していく。

どうなった

ほぼ半数を買収

16・17年の2か年で、用地買収予定面積のほぼ半数の面積を買収しました。引き続き鋭意努力していきます。

質問者の満足度



土地所有者の気持ちを大切にしながら、今後も誠意ある対応をお願いしたい。大変な仕事であるが、がんばって欲しい。



防犯カメラ設置中(大口北部中学校)

子どもの安全確保

学校内や通学路で、子どもの安全がおびやかされる事件が多発している。具体的な取り組みは。

(木野春徳議員)

教育長答弁

さらに安全対策を推進

全小・中学校に防犯カメラの新設・増設を予定している。遠距離通学の低学年児童への巡回バスも拡大する。

どうなった

回答どおり実施

防犯カメラは、現在各学校に2～4台設置してあります。低学年のみでの下校時に合わせて、週3回、巡回バスを運行しています。

3月定例会を振り返って

議会はこう考える!

本会議や各常任委員会で、活発に議論されたものをクローズアップしてみました。

集中か分散か

はじめに比較検討を

議会から平成17年12月、集中型堆肥化施設を調査・研究してもらいたいと提言しました。しかし、当初予算では何も計上されていません。どういふつもりなのか町の見解を問うと、当初予算には間に合わなかったもので、6月の補正で組んでいきたいと、環境建設常任委員会では答弁がありました。

河北の施設も研究段階で、完成されたものではないことは、町も認めています。改良の余地を残しながらも要望があったら広げたいということは無責任ではないでしょうか。議会側は、集中型と分散型を比較検討できるデータの提出があつて、町長が進める分散型のほうがより優れていると確認できるまで、分散型を広めることは認めないと主張しています。その理由は、全町の生ごみを焼却処理から取り除くには、集中型施設のほうが勝っていると思われるからです。

また町長は、集中・分散という議論ではなく、ごみの減量化、循環型社会の構築という視点で考えたいとよく言われます。しかし処理の方法は、集中型か分散型のどちらかしかありません。この議論もまた、避けて通ることはできないわけですが、それには集中型も調査・研究を行い、施設の建設費、運営経費等を比較することから始めなければなりません。

「集中型での堆肥作りは環境施策として取り組みたい」としながら、「補正予算は検討しているが、今しばらく時間をいただきたい」という答弁です。議会は、集中型施設の建設予算をつけるよう要望しているわけではありませんが、調査・研究するための予算です。なぜ時間が必要なのか理解できません。



3月27日～30日まで毎日、各区の住民の方が滋賀県甲賀市の集中型施設を見学しました。
＝3月30日、秋田区民の方

①選 択 と 集 中
生ごみ堆肥は
集中も選択

補助ではなく支援

町長「社会に貢献するなら妥当」



見ても見なくても、定額でコンテンツ料が支払われます。せっかくだので、皆さんもどンドン見てください。

配信使用料120万円

地方分権は
補助金見直し
自立支援

ネットワーク配信コンテンツ使用料は、「劇団ほほえみ」の作品に対する使用料です。助成金120万円をカットしながら、配信コンテンツ料として同額を支払っている理由を聞くと、次のような答弁がありました。

「育成としての補助ではなく、作品に対する評価あるいは社会に貢献していくものを支援することは妥当と考えた。町の支援がなくなれば、劇団が消えてしまう恐れがあり、何らかの支援はしていくべきである。総務文教常任委員会での指摘を受け止め、19年度は予算組みを考えていきたい」というものでした。

こうした経緯は、本会議での質疑をきっかけに明らかになりました。今まで質問がなかった中で、説明する機会がなかったと言われるかもしれない。しかし9月の決算特別委員会で、17年度のミュージカル育成助成金について質問した時、「助成して10数年たつので自主運営をお願いし、予算計上しなかった」という答弁しかありませんでした。

劇団を支援したいという希望があれば、助成金から配信コンテンツ料に変更して支援していくと、初めに説明があつてしかるべきです。助成金をカットしたことだけ答えて残りの部分を答えないのは、知らせたくない情報だからと疑いを持たれても反論できるのでしようか。

「ガラス張り」とはどういうことを指すのか、いま一度再考願いたい。

番外編

こんなこともありました

3月議会で部設置条例の一部改正が提案されました。第6次総合計画や集中改革プランの進行管理を担当する課を設置するために必要があつたからです。しかし、この議案を上程したいと申し出があつたのが3月16日、本会議への上程が22日の最終日です。

質問の中で、事務分掌規則との整合性もこれから精査するということでした。時間がない中で事務を進めてきたことが露呈した結果となりました。種々の事情は酌むべきものがあります。しかし、当初予算を審議し終えてから、提案するのはいかなるものかと言わざるを得ません。

町は、議会の指摘を真摯に受け止め、議案を撤回しました。

わがふるさと その7 再発見

余野神社の鰐口（一対）

慶長2年（1597）

この鰐口に名前が刻まれている寄進者の中島左兵衛尉（さびょうえのじょう）は、小口城が織田信長に攻め落とされたときの城主である中島豊後守ゆかりの人物と思われ、また、中島左兵衛佑（さびょうえのすけ）という人が大屋敷字丸に居館を築き住んでいたことを思わせる村絵図もあることから、中島氏が当地に深い関わりがあったことが分かります。

この鰐口は祭礼になると余野神社に掲げられ、一般に見ることができます。大口町の指定文化財となっています。



皆さん議会傍聴に
来てください

次回定例会

6月5日(月)から予定

手続き簡単。
3階で住所と名前を書くだけです。

議会だより編集委員会

議長	大森 道弘
委員長	酒井 久和
副委員長	木野 春徳
委員	吉田 正
委員	柘植 満
委員	倉知 敏美
委員	宮地 計年

（宮地計年）

人は知識があり、表情も豊かだが、醜みにくさもあわせ持つ。何事にも心穏やかに望みを持ち、誠実に進んでいきたいものである。

編集後記

春ついで

今年も五条川の桜が爛漫らんまんに咲き誇り、人々の目を楽しませ体を解かしてくれました。春は花の競演である。

花は、私たちに笑顔を与え、心を和なごやかにしてくれる。

人は知識があり、表情も

豊かだが、醜みにくさもあわせ持つ。

何事にも心穏やかに望みを持ち、誠実に進んでい

きたいものである。



子ども会紹介⑨ 萩島子ども会

現在、町内では16の子ども会が元気に活動しており、このコーナーでは、順次子ども会を紹介していきます。

萩島子ども会は元々人数なので、行事によっては上小口子ども会と同で行なっています。それは少人数の時とは違う楽しさがあり、キャンプでは、キャンプファイヤー・肝試し等、大勢でしか味わえない醍醐味だいごみもあります。

6年生を送るボーリング大会では、初めて1人でボールを投げる子どもも含め、皆の心に残る思い出となりました。萩島子ども会は少人数の楽しさと、大勢でする興奮を感じられる、よい環境にあると自負しております。

萩島子ども会会長

